

インラインキュア装置 (SC3305) の導入メリット

インラインキュア導入のメリット

- ・ 仕込みから出荷までの時間短縮が可能…………… T A T 短縮効果
- ・ 工程間における滞留時間を短く出来る…………… 工程管理時間の短縮効果
- ・ 枚葉管理が出来るため、不良発生の早期発見とクイックフィードバックにより、
最小のロスタイムで復帰が可能…………… 品質不良低減効果
- ・ 枚葉搬送により、製品 1 台ごとの均一品質管理を実現…………… 品質不良低減効果
- ・ 降温された状態での基板アンローディングのため、マガジン取出し時に
火傷の気遣いもなく、また待機時間も必要としない…………… 作業安全向上効果



その結果・・・生産効率の向上

オペレータ要員の削減＝人件費の削減が可能

シンクライトキュア導入のメリット

- ・ 国内外 500 台以上の実績から、多くの半導体チップ、および基板形状に豊富な経験を持ち、
基板搬送から、炉内各種条件設定に精通している。
- ・ 開発初期段階において、材料熱解析、炉内ガス分析、ダウンフロー気流解析、その他多くの要素解析を
積極的に行い、高度な基本技術を確立している。
- ・ 発熱装置としての安全設計には特に注力し、独自の安全回路を設けている。
- ・ 世界中の代表的な半導体組立装置メーカーとのインライン接続を経験し、機種の違いによる個別のイン
フェース開発も柔軟に対応している。
- ・ 国内に存在する代表的なダイボンディングペーストメーカー数社に、評価用として弊社製キュア装置を
お使いいただいている。
- ・ 基本的な炉構造をベースに、個々のお客様の仕様、ご要求に柔軟に対応した特注機作りを心掛けており、
50 種類以上のシリーズ化の実績がございます。



その結果・・・24時間連続安定稼動を実現

メンテナンス要員の削減＝人件費の削減が可能

SC3305導入のメリット

- ・ 前設備 (ダイボンダ) から直接基板を受け取りキュア後マガジンへ収納まで全自動で行います。
- ・ N₂ホットガスによるダウンフロー構造により、銅基板の酸化抑止、素子表面へのアウトガス付着抑止
を積極的に行います。
- ・ 1 基板上 3 点計測における温度分布を ± 5℃ 以内に治めます (200℃ 以下、他当社規定条件下にて)。
- ・ 前設備とのタクトタイムバランスを、6 秒から 999.9 秒間で調整できます。
- ・ マガジンアンローダーは、空マガジンストック、満杯マガジンストックとも 306mm の有効スペース
を確保 (標準仕様)、更に有効スペース 600mm の大型ロッカー仕様も用意しております。
- ・ 豊富な実績を持つ SC3005 型 (既存) の炉構造 (8 段独立ヒートゾーン) を継承しております。
- ・ 8 品種自動切換え機能を標準装備しております。
- ・ 装置外形サイズを変えずに、アンローダー部の一部をローダー部に変更し、スタンドアロン仕様として
使用可能です (オプション / SC3302 型)。